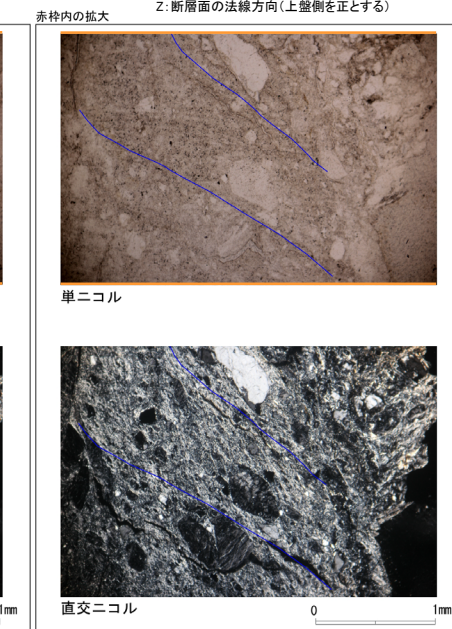
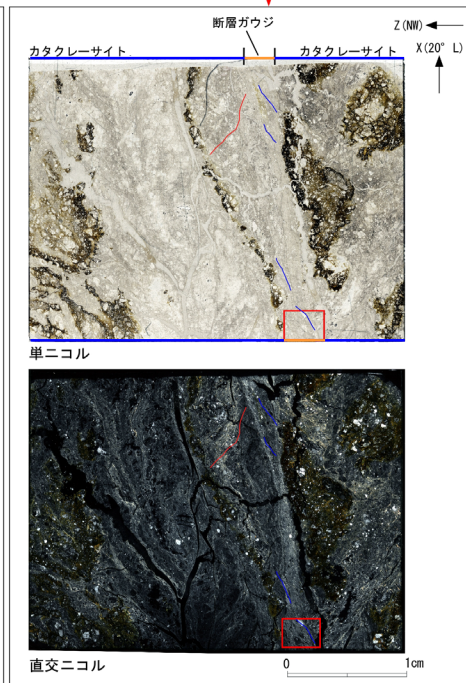
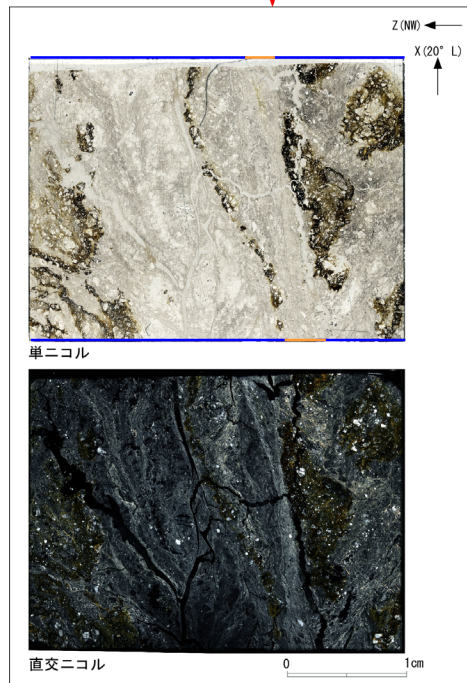
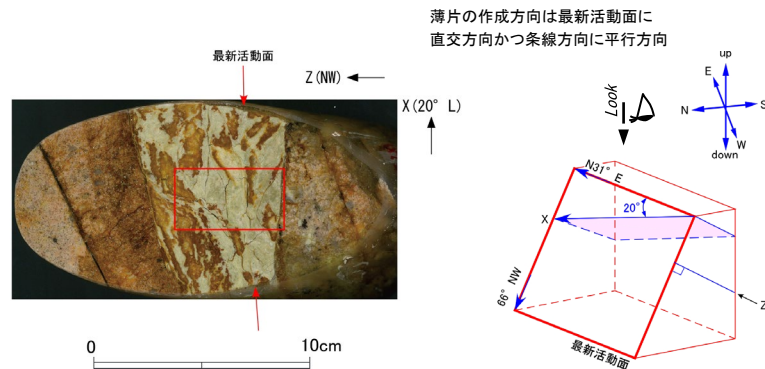
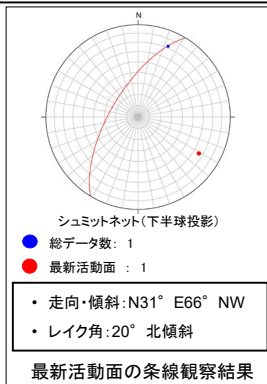


H24-D1-3 深度14.41~14.52m H-4' 破砕帯

・H24-D1-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度14.47m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

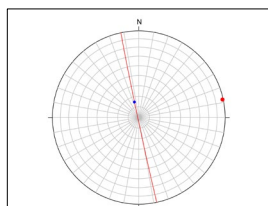


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H24-D1-3 深度34.23~34.52m D-1破砕帯

・H24-D1-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度34.40m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。

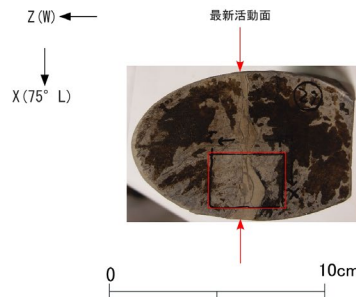
・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



シュミットネット(下半球投影)
● 総データ数: 1
● 最新活動面: 1

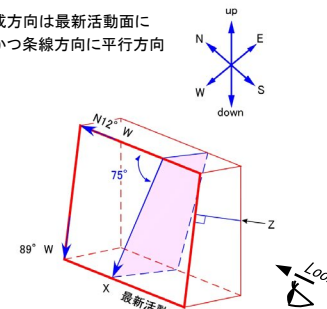
・ 走向・傾斜: N12° W89° W
・ レイク角: 75° 北傾斜

最新活動面の条線観察結果



ブロックサンプル

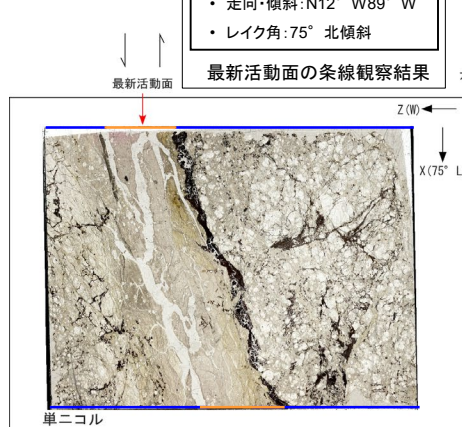
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



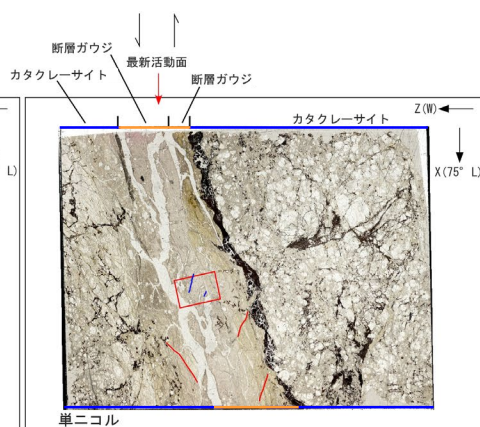
走向・傾斜 N12° W89° W

X: 条線方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(上盤側をとる)



単ニコル



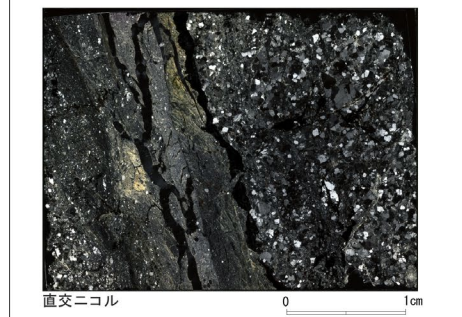
単ニコル



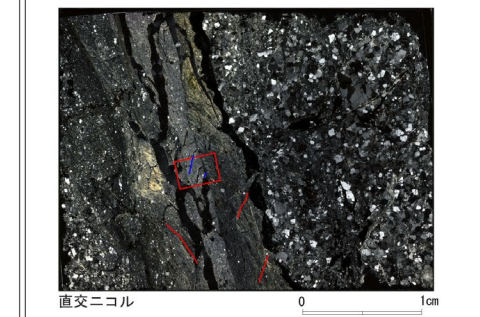
単ニコル



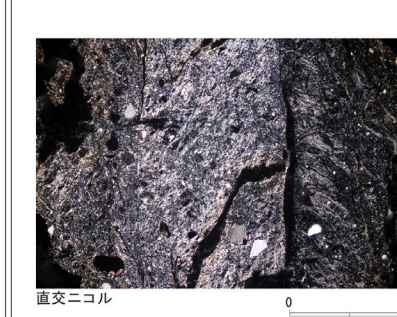
単ニコル



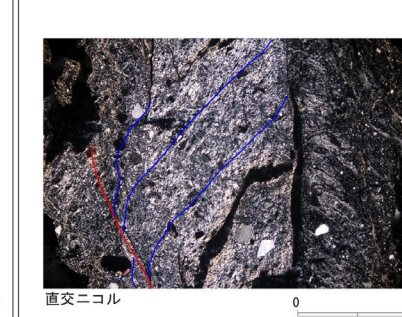
直交ニコル



直交ニコル



直交ニコル



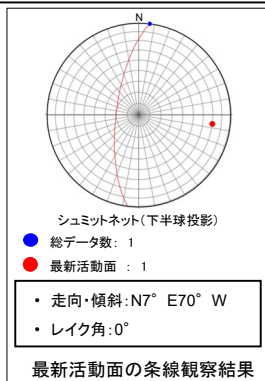
直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - RI面
 - P面

H24-D1-3 深度52.13~52.28m 非モデル化破砕部

・H24-D1-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度52.13m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

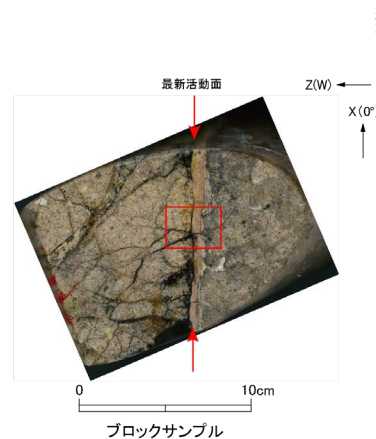
・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



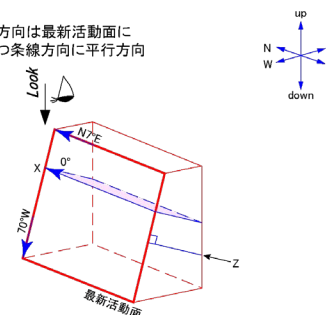
↑ 最新活動面
↓ 最新活動面

最新活動面の条線観察結果

↑ 最新活動面
↓ 最新活動面



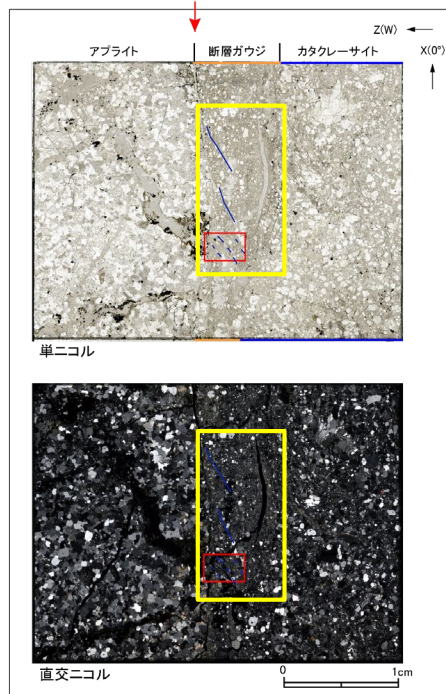
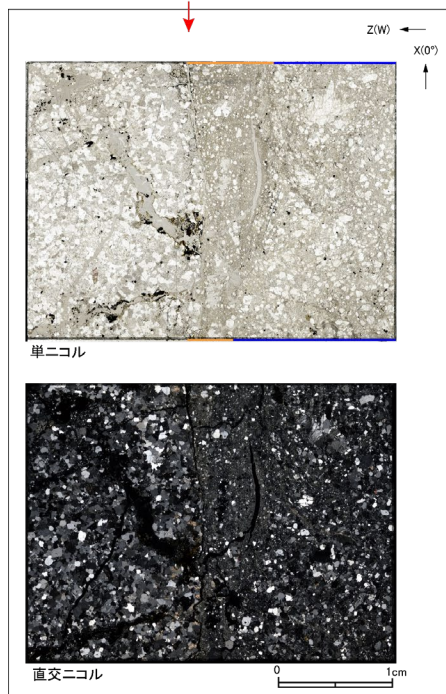
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N7°E 70°W

X: 条線方向(北向きを正とする)

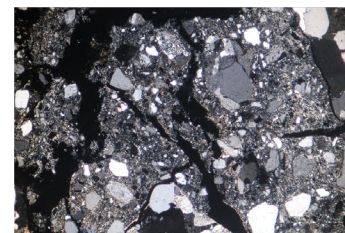
Z: 断層面の法線方向(上整側を正とする)



赤枠内の拡大

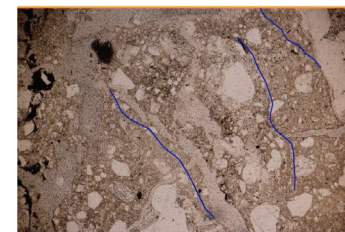


単ニコル

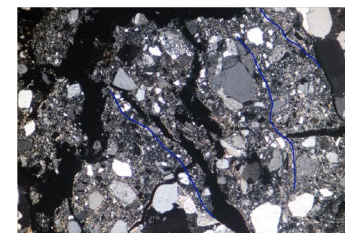


直交ニコル

赤枠内の拡大



単ニコル



直交ニコル

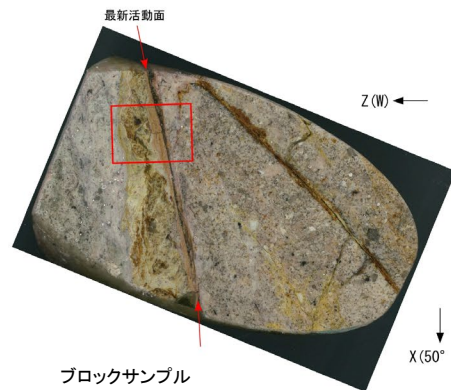
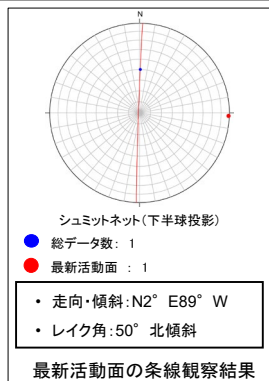
凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

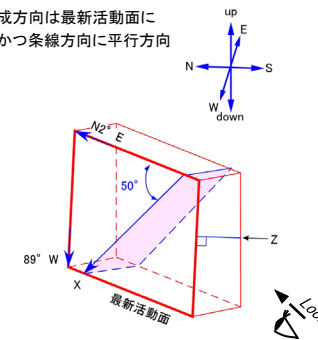
H24-D1-3 深度56.88~57.24m D-35破砕帯

・H24-D1-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度57.20m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



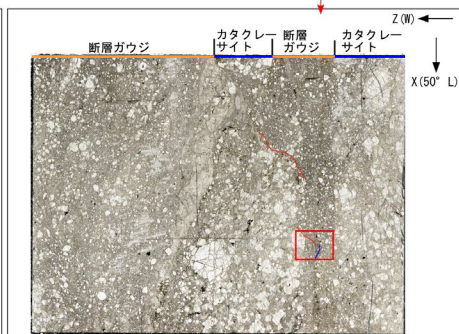
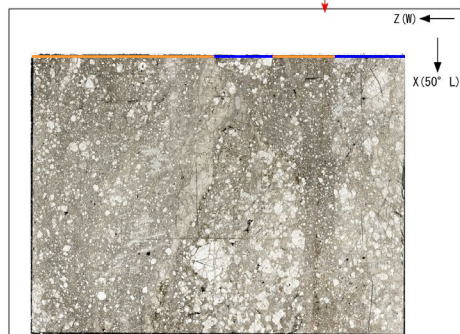
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



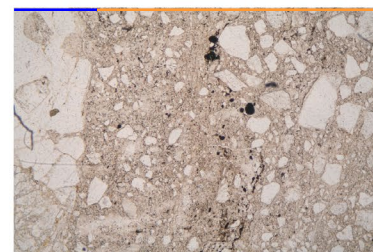
走向・傾斜 N2° E89° W

X: 条線方向(下向きを正とする)

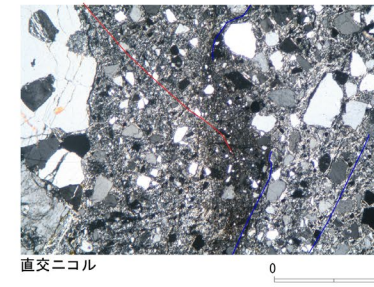
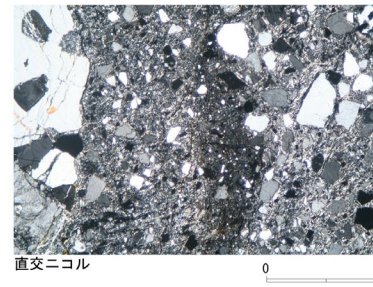
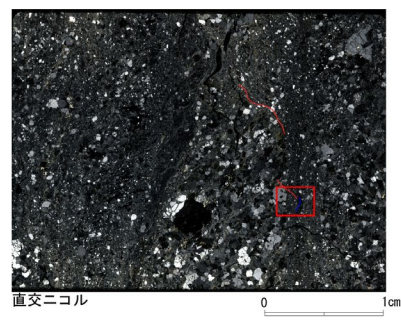
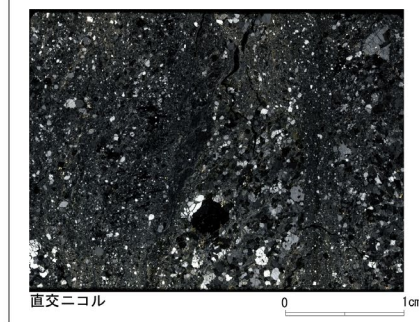
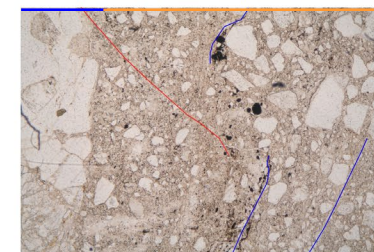
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



赤枠内の拡大



赤枠内の拡大



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

余白

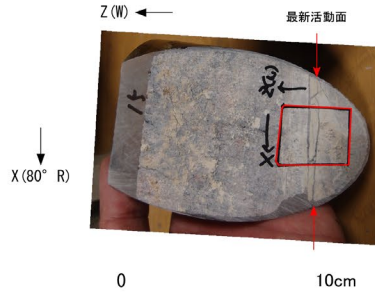
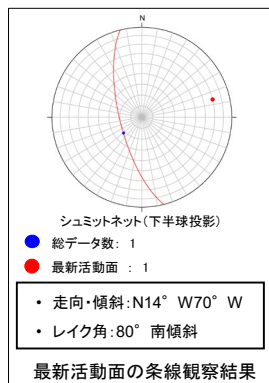
H24-D1-2

余白

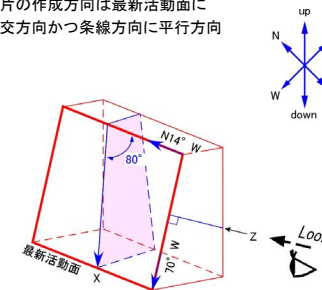
H24-D1-2 深度 12.38~12.97m D-1破砕帯

・H24-D1-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度12.85m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

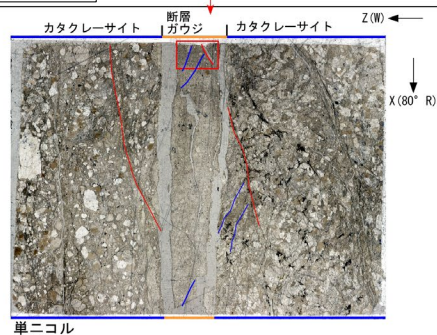
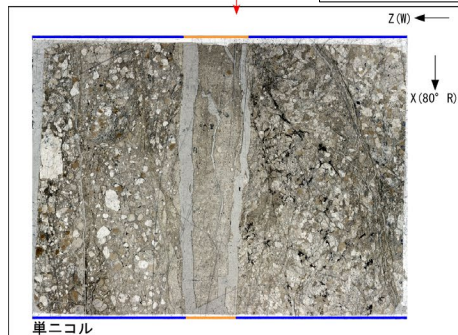


ブロックサンプル

走向・傾斜 N14° W70° W

X: 条線方向(下向きを正とする)

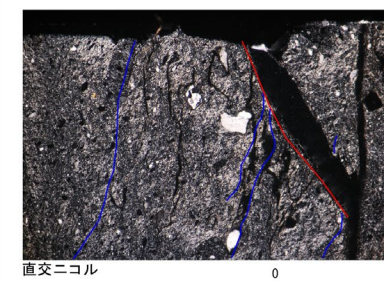
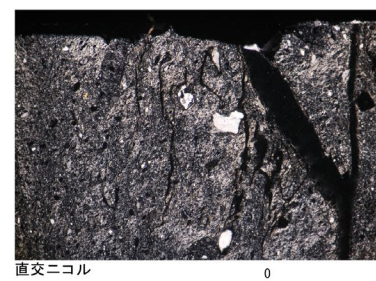
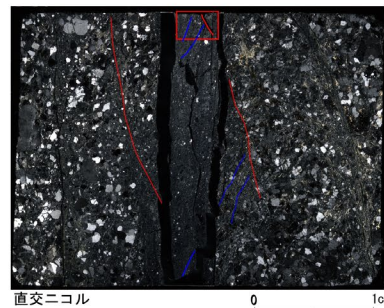
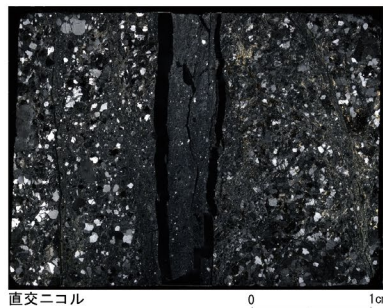
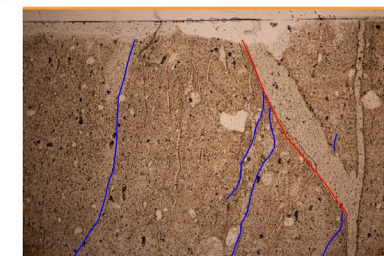
Z: 断層面の法線方向(上盤側をとする)



赤枠内の拡大



赤枠内の拡大

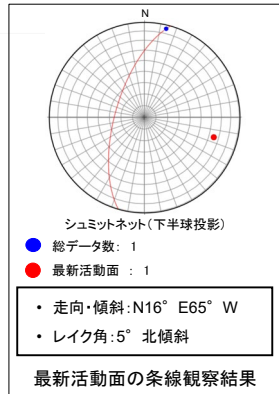


凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H24-D1-2 深度19.78~19.87m 非モデル化破砕部

- H24-D1-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度19.87m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。
- 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

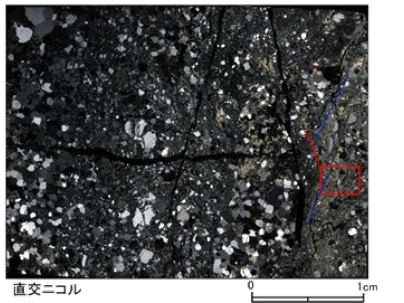
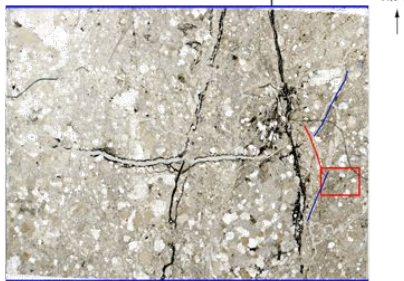
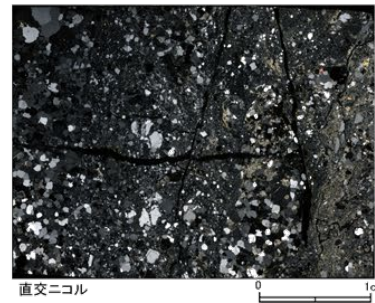
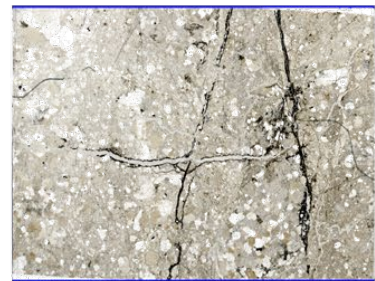


最新活動面

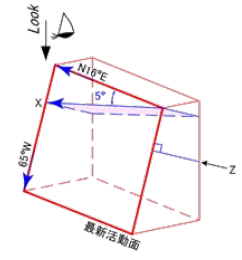
最新活動面の条線観察結果

最新活動面

最新活動ゾーン

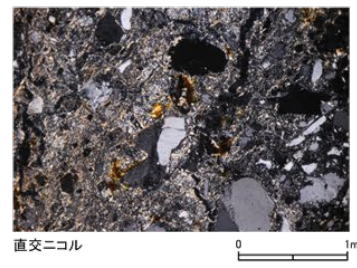
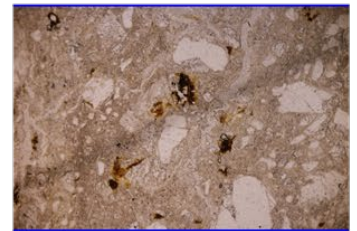


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

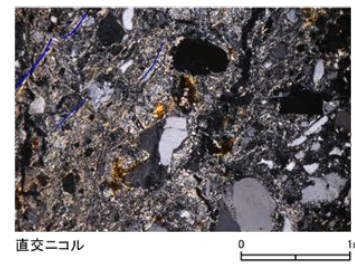
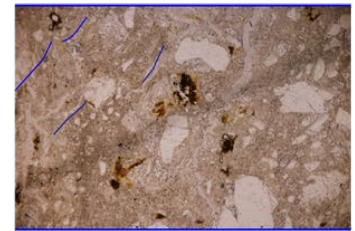


走向・傾斜 N16°E 65°W
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

赤矽内の拡大



赤矽内の拡大



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

余白

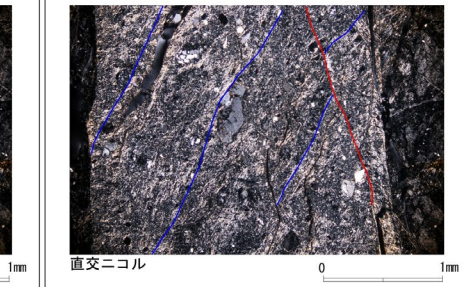
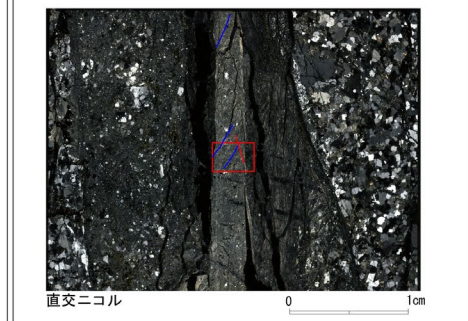
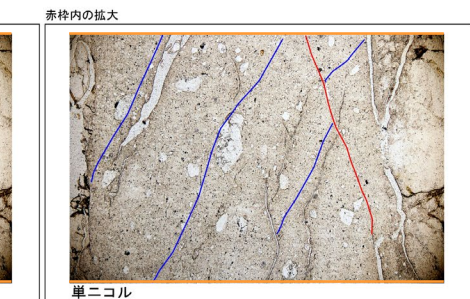
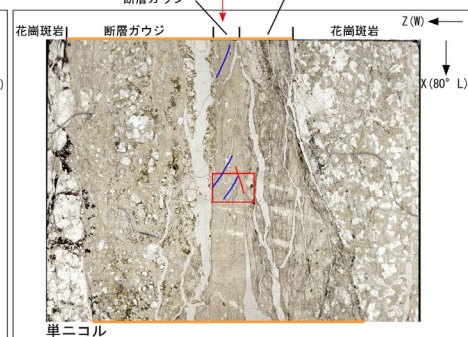
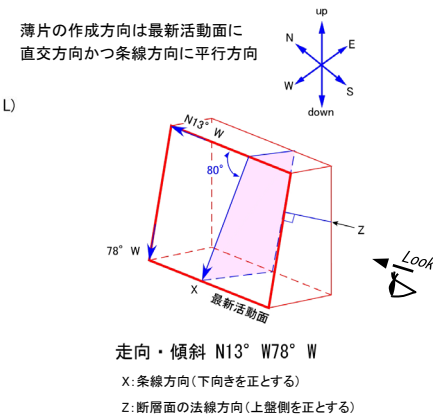
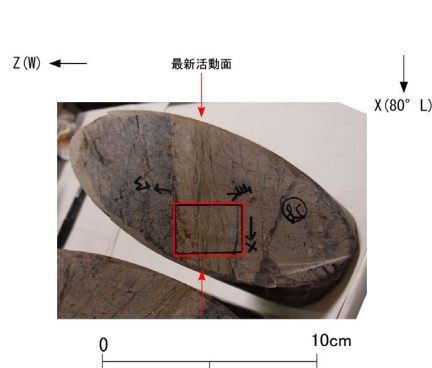
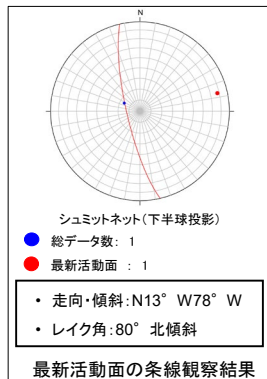
H24-D1-4

余白

H24-D1-4 深度 10.91~10.93m D-1破砕帯

・H24-D1-4のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度10.91m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

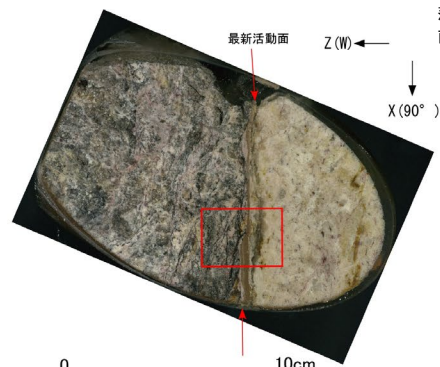
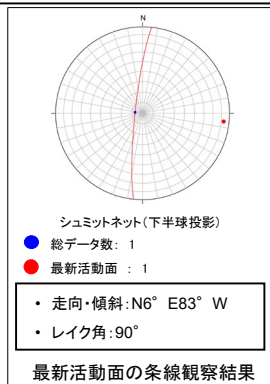


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレースイト
 - R1面
 - P面

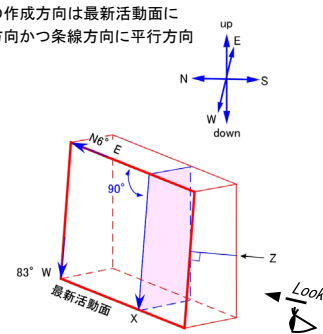
H24-D1-4 深度27.75~28.43m D-35破砕帯

・H24-D1-4のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度28.33m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



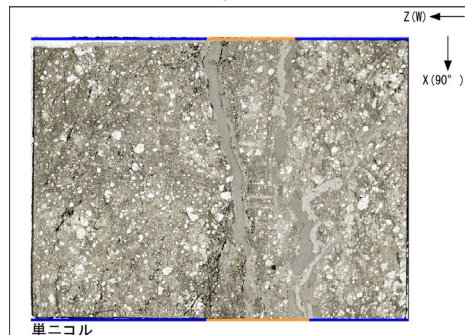
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



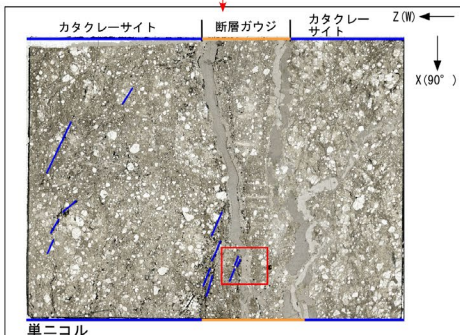
走向・傾斜 N6° E83° W

X: 条線方向(下向きを正とする)

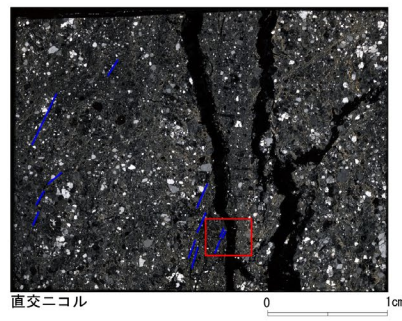
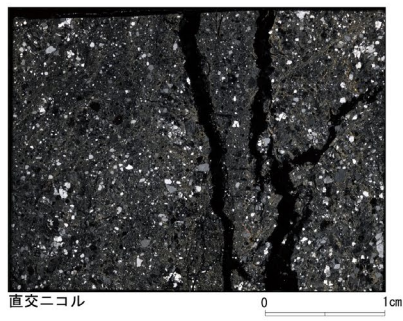
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



単ニコル

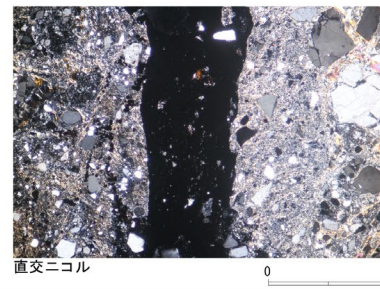


単ニコル

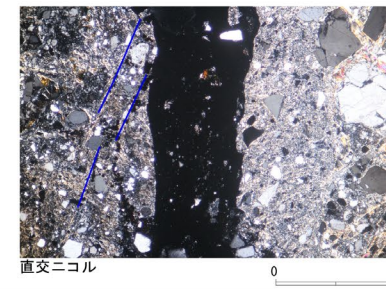
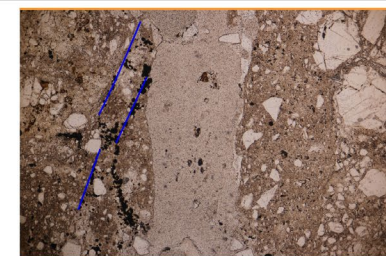


ブロックサンプル

赤枠内の拡大



赤枠内の拡大

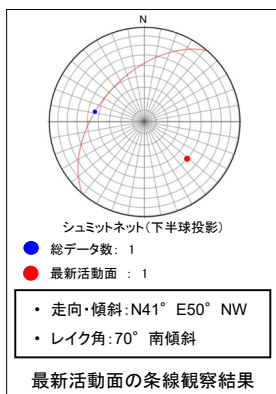


凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H24-D1-4 深度52.97~53.46m 非モデル化破砕部

・H24-D1-4のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度53.05m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



最新活動面

最新活動面の条線観察結果

最新活動面



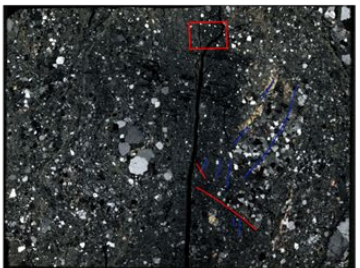
単ニコル



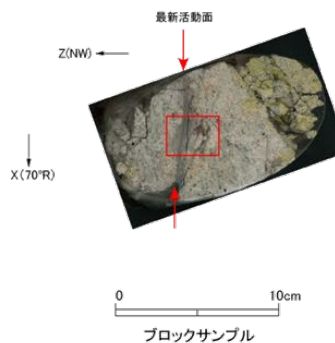
直交ニコル



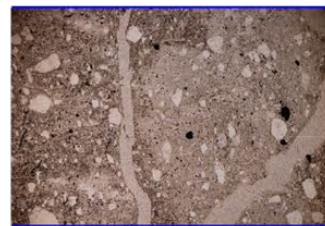
単ニコル



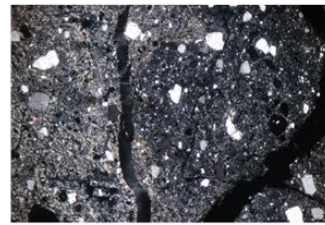
直交ニコル



赤枠内の拡大

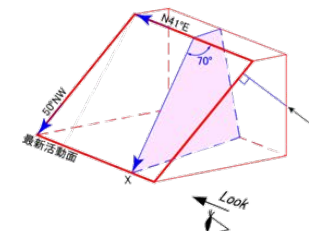


単ニコル



直交ニコル

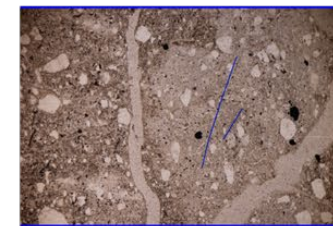
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



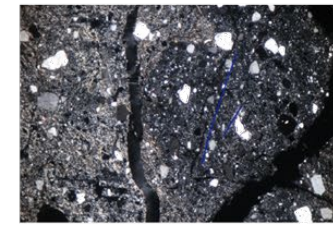
走向・傾斜 N41°E 50°NW

X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

赤枠内の拡大



単ニコル



直交ニコル

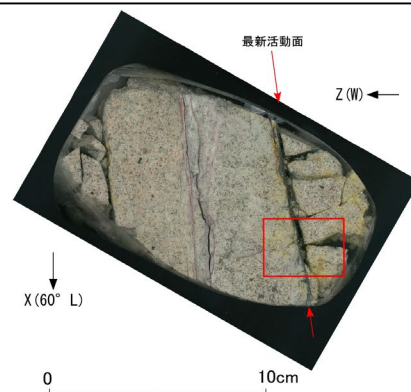
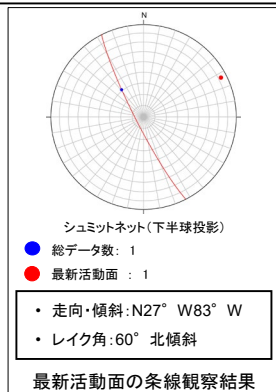
凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

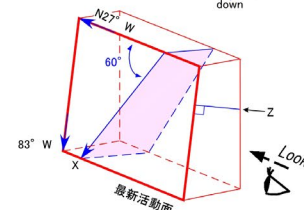
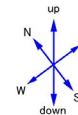
H24-D1-4 深度61.47~61.52m f-d1-4-5破砕帯

・H24-D1-4のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度61.52m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

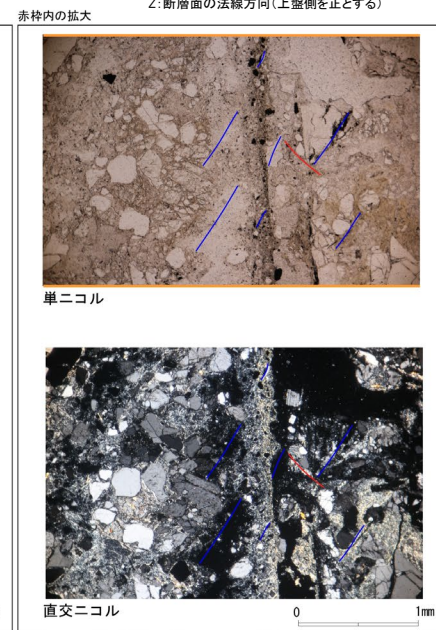
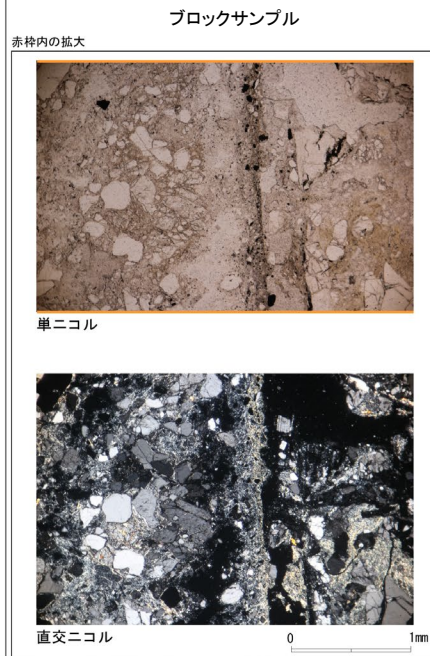
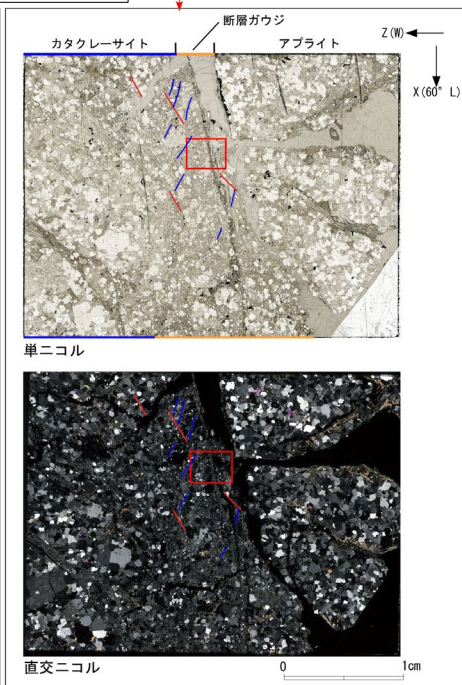
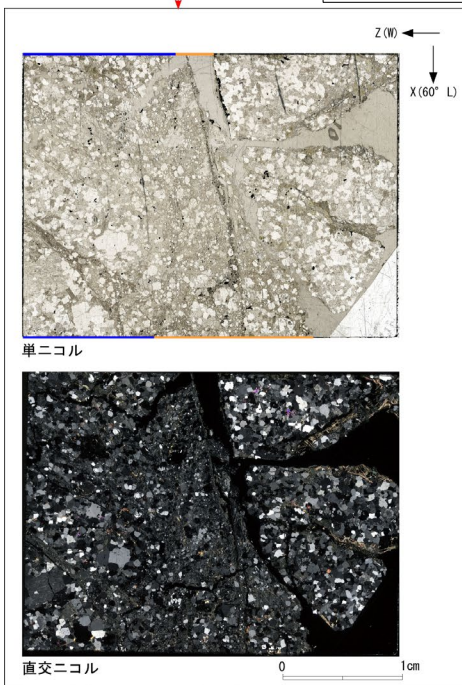


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N27° W83° W

X: 条線方向(下向きを正とする)
 Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

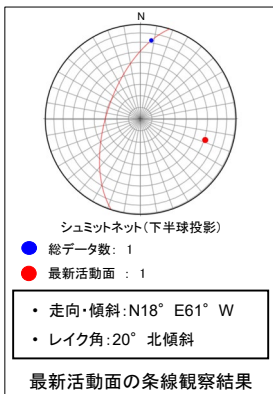
H27-B-3

余白

H27-B-3 深度26.70~26.90m 非モデル化破砕部

・H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度26.70m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。

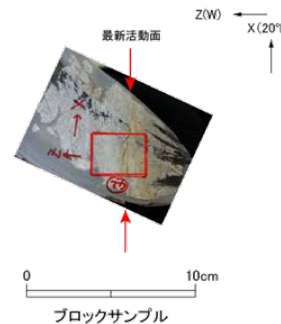
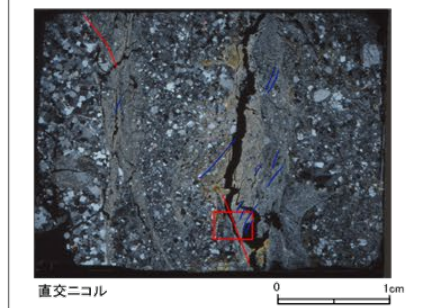
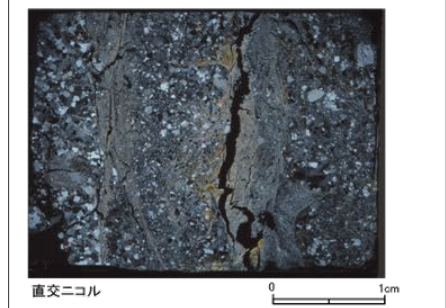
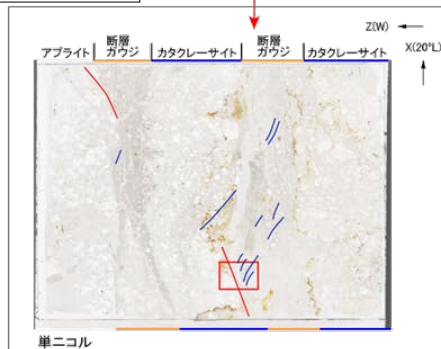
・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



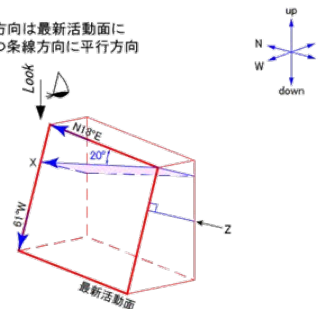
最新活動面

最新活動面の条線観察結果

最新活動面



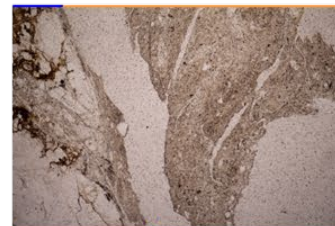
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



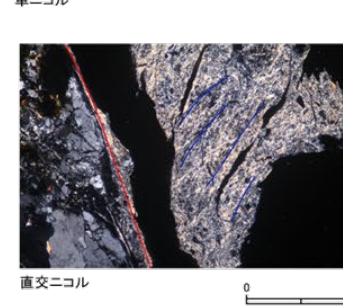
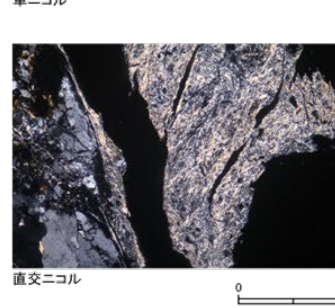
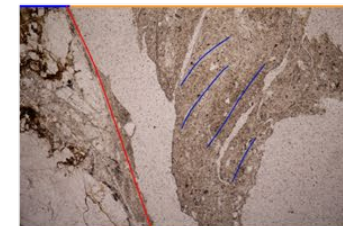
走向・傾斜 N18°E 61°W

X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上側側を正とする)

赤枠内の拡大



赤枠内の拡大

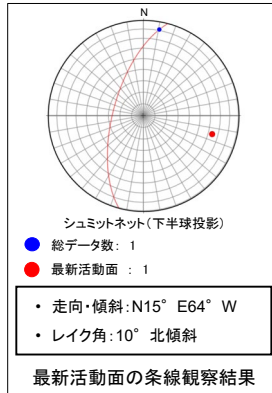


凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H27-B-3 深度28.12~28.14m 非モデル化破砕部

- H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度28.12m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。
- 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことや、一部に鉱物の粒界を横断する破断面が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

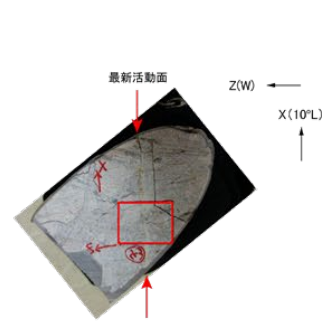


最新活動面

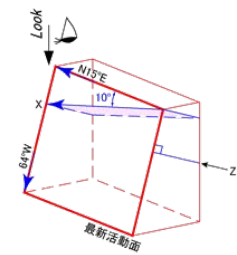
最新活動面の条線観察結果

最新活動面

最新活動ゾーン

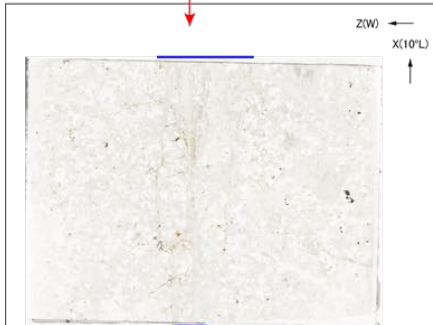


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N15°E 64°W

X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上側側を正とする)



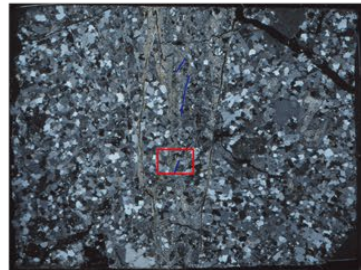
単ニコル



直交ニコル

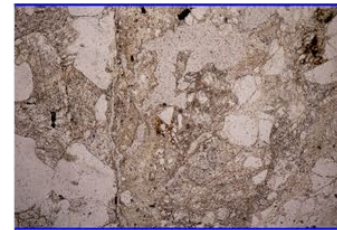


単ニコル

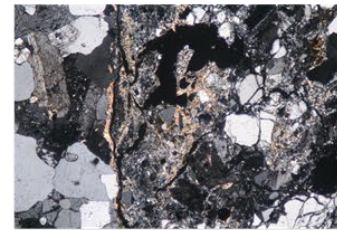


直交ニコル

赤枠内の拡大

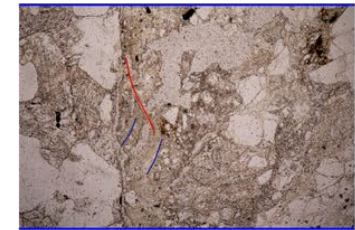


単ニコル

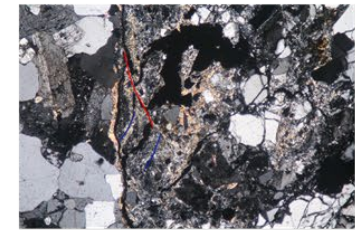


直交ニコル

赤枠内の拡大



単ニコル



直交ニコル

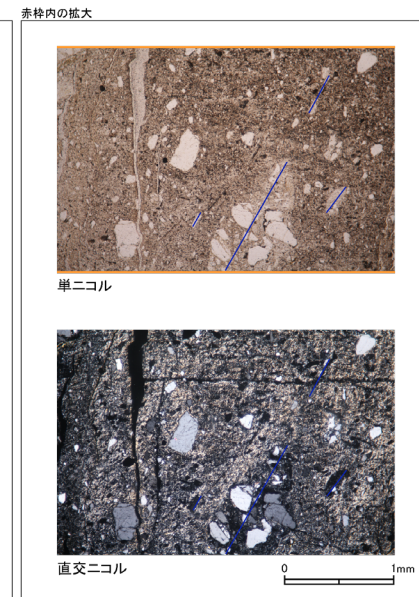
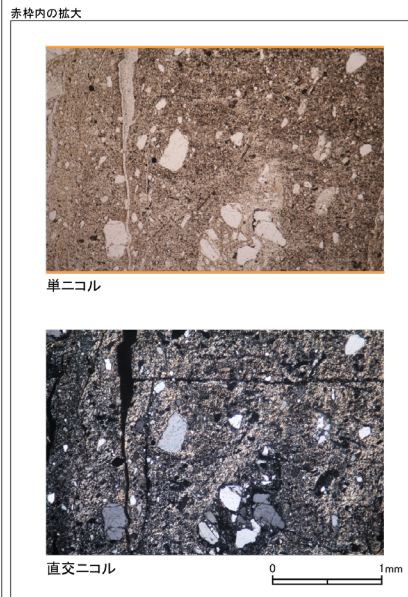
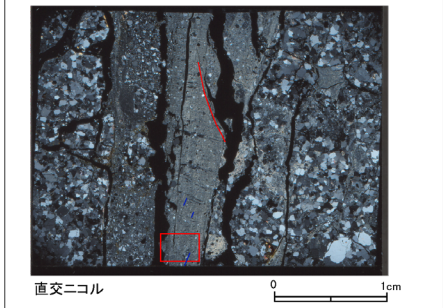
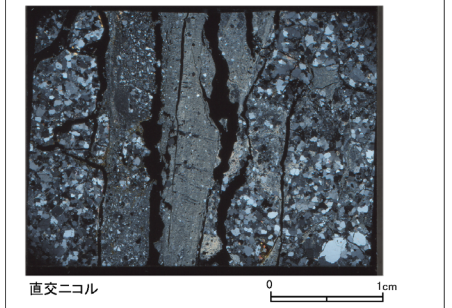
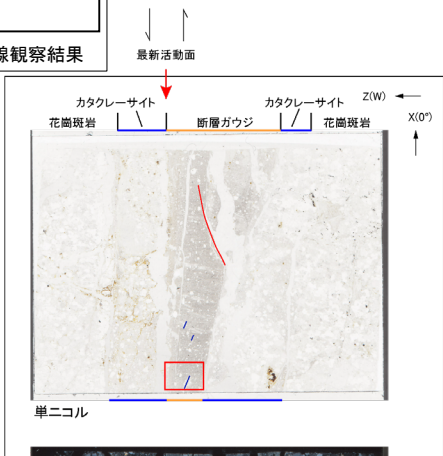
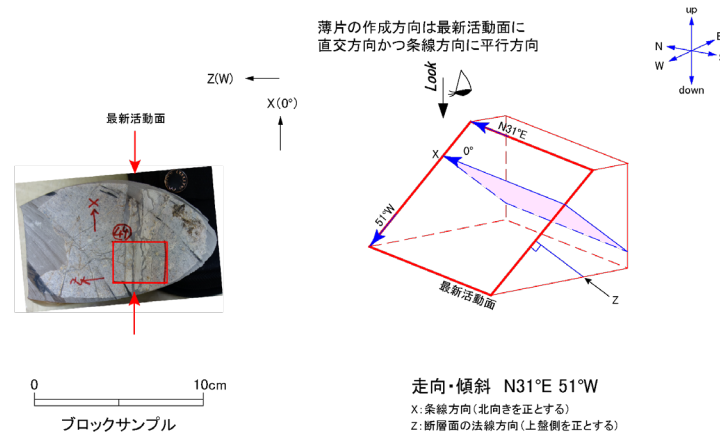
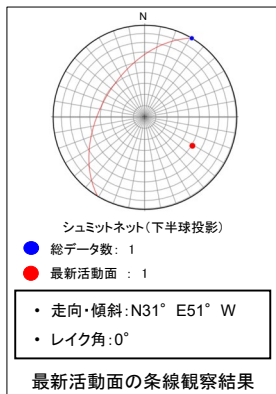
凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H27-B-3 深度29.10~29.12m 非モデル化破砕部

・H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度29.10m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

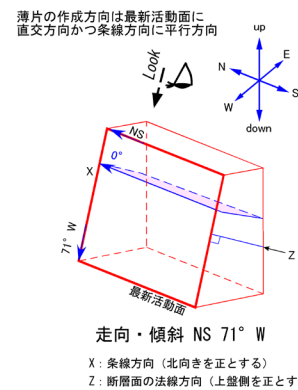
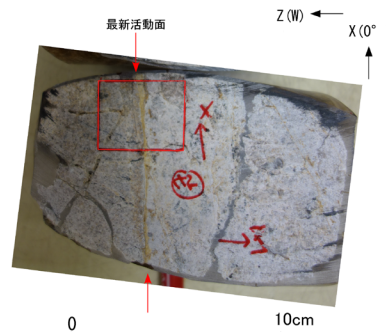
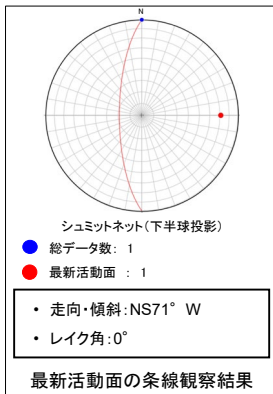


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-3 深度42.85~42.91m H-2破砕帯

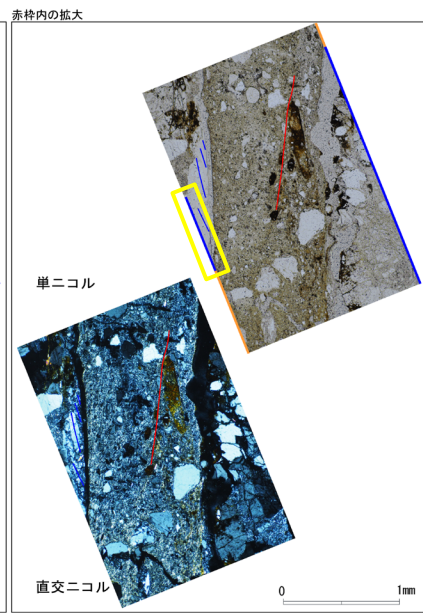
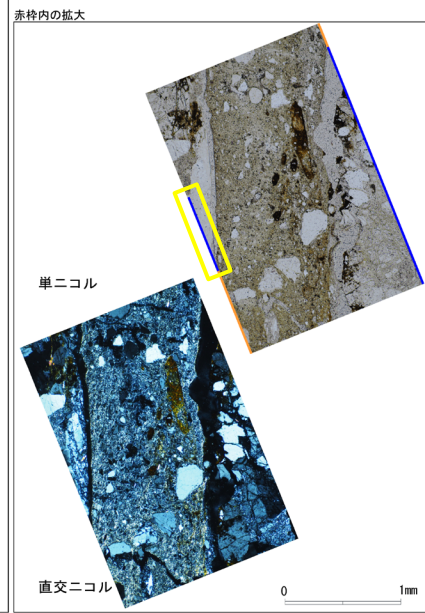
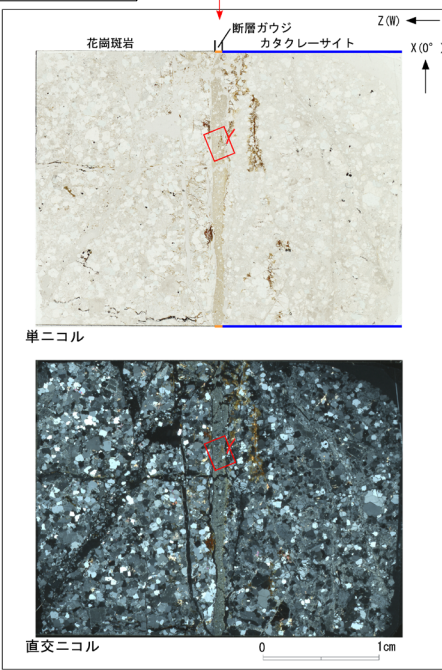
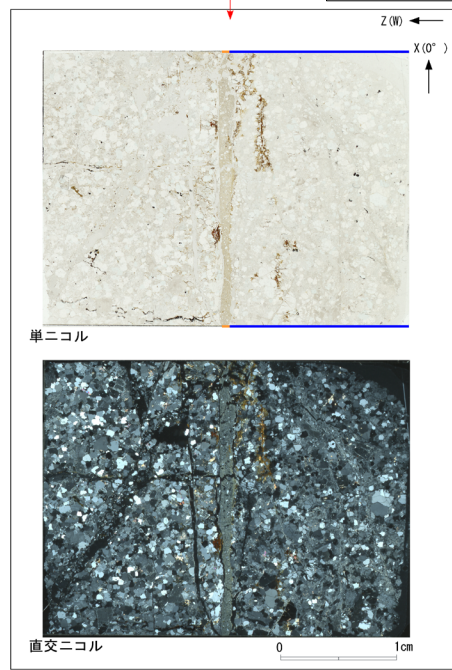
・H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度42.85m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



※切断面に記載されているZ方向は誤り

ブロックサンプル



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面